

公共事業事前評価調書(平成26年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:街路整備班

事業名	伊差川線(伊差川工区)街路整備事業	事業区分	街路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	名護市伊差川地内				
事業の諸元	延長 L=0.6km 幅員 W=16m【車道3.0m×2、(歩道+植樹樹)3.5m×両側、停車帯1.5m×両側】				
事業の概要	<p>伊差川線は、名護漁港入口の交差点を起点として名護市の中心市街地を南北に縦断し、沿線には北部地区の中核的医療機関である北部病院や保健所等の公共施設、さらに大型スーパー等の生活関連施設が立地する計画延長3.35kmの幹線道路である。また、当路線は市街地と郊外を結ぶ路線としても重要な役割を担っている。</p> <p>これまで起点側から事業化しているが、今回新たに終点側伊差川西交差点までの区間(L=0.6km)の現道拡幅整備を行うものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p><必要性等> 今回事業区間は、現道幅員が10m程度と狭小で、バス路線にも関わらず歩道幅員は1m程度であるため、すれ違い時には車道にはみ出して通行する歩行者がおり、また、歩道内に排水溝や電柱等があることから、歩行者の安全性及び快適性を著しく欠いている。 さらに、名護市では、北部圏域内の経済活動を支える幹線道路網の形成が求められており、当該区間の早急な整備が必要とされている。</p> <p><効果等> 本事業区間の整備により、安全で快適な歩行空間が創出されるとともに沿線の土地利用が促進されることで、日常生活や経済活動の活性化が図られる。</p>				
事業期間	事業採択	平成26年度	完了(予定)	平成32年度	
全体事業費	12.6 億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C = 1.02	総便益:B	11.0 億円	総費用:C	10.8 億円
		走行時間短縮便益	10.5 億円	改築費	10.5 億円
		走行経費減少便益	0.5 億円	維持修繕費	0.3 億円
		交通事故減少便益	0 億円		
					基準年 平成 25 年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>本事業は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の基本施策である「人間優先のまちづくり」等の複数の施策への位置づけや「沖縄県総合交通体系基本計画」に位置づけられている。 本事業区間は、平成18年9月15日に都市計画決定済みである。</p>				
環境への配慮	歩道植栽により緑陰を形成し、歩行者及び周辺的生活環境へ配慮した整備を行う。				
関係する地方公共団体等の意見	名護市より伊差川線の未整備区間における早期整備の要請書が提出されている。(平成25年6月)				
概要図(位置図)					